



■発行所／(株) びゅーすまいる編集舗・みまもりプレス編集部
 ■2022年1月20日発行号 ■TEL.03-6807-8287 ■発行者・編集人／八木澤 晃 ■毎月第3木曜日発行

ザ・ハウス

<https://thehouse.co.jp/>

単身高齢者の住宅問題解決への新サービス発足

『ひとり暮らし安心プラス』がウェブサイトを開設

ザ・ハウス(東京都渋谷区)では、単身高齢者の住宅問題を解決する『ひとり暮らし安心プラス』の提供を2022年2月中旬(予定)より開始する。本サービスの提供に先立ち、1月17日より公式サイトを開設し、「販売代理店登録」の受付がスタートした。

『ひとり暮らし安心プラス』は、「単身高齢者の賃貸住宅入居に立ちふさがる「4つの障壁」——(1)孤独死による建物の棄損やそれに伴う事故物件化(2)認知症による問題行動(3)万一の時の賃貸借契約の扱い(4)万一の時の残置物(遺品)の取り扱い——などの問題を解決し、家主側の不安を解消するとともに、単身高齢者の賃貸住宅入居をサポートするというもの。

利用料金は入居者が負担し、2年間で「2万円」前後(入居者の年齢・賃貸住居の家賃によって異なる)

の火災保険と同等の安価な価格で、上記の入居者の定期的な見守りと万一の時の死亡時対応を行うとしている。

『ひとり暮らし安心プラス』は、専用ウェブサイトからの直接販売の他、不動産仲介会社、管理会社等を通して賃貸借契約締結時の加入が想

定されているとし、「入居者の満足はもちろん、家主様も費用負担なく、安心して単身高齢者に物件を貸せるようになる等、不動産仲介会社、管理会社にとっても多くのメリットがございます——(ザ・ハウス)」として、現在、「販売代理店登録」の受付を実施している。



シニアが元気になると
日本が元気になる！

元気シニア倶楽部
会員募集中!!

——入会費・年会費なし——

一般社団法人

日本 S 元気シニア総研

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 4-4-5 第3伊藤ビル4階
 tel.050-5533-3100 fax.03-5791-5859 Email. info@genkisenior.com



『ピップエレキバン』が発売50周年

特設サイトの公開や、ファン参加型のコンテンツ制作も企画

ピップ(大阪市中心部)では、同社が製造販売する、磁気力で血行を改善しコリをほぐす磁気治療器『ピップエレキバン』シリーズが2022年、発売50周年を迎えたことを発表した。

医療衛生用品の卸売業として、1908年に藤本眞次商店として創業した同社は、1968年に自社商品を開発する部署を設立。そこで、4つ目の自社開発製品として誕生したのがこの『ピップエレキバン』だった。

「当社独自の製品を開発する為、当時流行していた磁気プレスレットに着目し、直接患部に貼り付けるタイプの磁気治療器の開発を目指しました—(同社)」

『ピップエレキバン』が、多くのユーザーに知られるきっかけとなったのは、当時のピップフジモトの横矢勲会長が出演したテレビCM。1977年2月から九州エリア限定で放送され、これが話題を生んだことで、中国・四国・関西と放送エリアを拡大した。さらに1978年8月から藤村俊二さん、1979年8月からは樹木希林さんが出演したCMが続々と公開された。こうしたテレビCMと店頭での地道な販促活動による相乗効果によって、1979年には、年間売上「100億円」を超える大ヒット商品へ成長したのだという。

2022年は発売50周年を記念

して、まずは、8年ぶりとなるパッケージリニューアルを実施。おすすめの使用方法や効果感を訴求すると共に、環境に配慮したバイオマス素材を採用したのだという。さらに、『ピップエレキバン』50年の歩みを紹介する特設サイトの公開や、ファン参加型のコンテンツ制作も企画中的とのこと。



<http://www.pippjapan.co.jp/>

カナダ発：最新 AI 見守りセンサー販売開始／ミオ・コーポレーション

センサー開発販売事業を展開するミオ・コーポレーション(神奈川県横浜市)では、『Altum View Systems Inc(カナダ)』が開発したAI見守りセンサー『センチネア2』を日本国内向けに販売を開始した。

同社は、2013年から非接触バイタルセンサーの開発販売を開始。これまで累計「約20,000台」を日本国内中心に販売しているが、主に介護施設向け見守りセンサーとして活用され、現在も多くの非接触バイタルセンサー

が稼働しているという。また『Altum View』が所在するカナダは、AI研究国ランキングでもTOP5に入っているAI技術発展国で、『Altum View』は介護分野向けAI見守りセンサーの開発を2016年より開始し、これまで累計「約4,000台」のAI見守りセンサーを全世界に販売した実績をもつとのこと。

それぞれの国で見守りセンサー開発販売をしている両社が、介護スタッフの負担低減、在宅介護見守りセンサーの導入促進を目指す。



<https://www.mio-corp.co.jp/>

アイデアの**商品化**を推進する
身近な**発明展**[®]

特許料
3億円!

アイデア
募集中

特許料
6千万円!

発明家たちの
登竜門

企業の
新製品
開発に



小さな創造を社会に活かす
一般社団法人**発明学会**

<https://www.hatsumei.or.jp/>

情熱の発明商品・発掘プロジェクト 生活にやさしい『なるほどアイテム』を探せ

当コーナーでは、発明学会（東京都新宿区）のご協力をいただき「情熱の発明品」をご紹介します。子どもや高齢者、そして生活全般にやさしい「なるほどアイテム」をピックアップします！掲載された商品に興味のある方は下記までご一報ください。

第54回 カンタン革製 傘の持ち手のオシャレな滑りどめカバー

『革製かさの持ち手カバー』



◎令和4年2月上旬よりクラウドファンディング開始予定！

<https://camp-fire.jp/projects/view/540368>



雨の日、徒歩で買い物に行く時や、日傘をさす時に、傘の持ちづらさを感じていた、谷口律子さん。改めて身近な「傘」に注目したら、「持ちにくい」と言う欠点の他にも、外食時などには置き忘れ

ないようにテーブルに引っ掛けると、滑り落ちやすく、イライラを感じていたことも思い出しました。とても身近な存在である「傘」に、これだけ困っている不便な点があるのであれ

ば、自分と同じく困っている人もいるはず。そのような思いをしている人のためになるものを作れば、喜んでくれるのでは？と発明に着手。問題解決に取り組みました。2年ほど試行錯誤して、た

どり着いたのが、「水牛の革のコードで編んで作った持ち手カバー」という発想です。構造はとてもシンプルで、革製の紐を筒状に編み込み、傘の持ち手に通して使います。カバーを傘の持ち手の先端から、ゆっくり少しひねりながらかぶせ、好みの長さでコードストッパーでしっかりしぼりズレない様に固定するだけ。内径は1.4センチほどですが、編み込み構造のため、ある程度太いものにも使用可能です。

何といてもこのカバーの売りは、商品一個作るのに、革紐を何と13・3メートルも使用している本格仕様である点。高級感を感じるよう、天然素材にこだわっただけあって、超おしゃれ！お気に入り傘の持ち手がスタイリッシュになり、持ちごちも良いし、耐水性もあってとても丈夫！テーブルに傘を引っ掛けてもすべり落ちにくくなった、便利な点だけでなく、高級感もプラスされ、お出かけもより一層楽しくなり

ました。

谷口さんは、この商品を中心に広めるために、梅雨や、日傘が活躍する夏前にお届けできるスケジュールでクラウドファンディングに挑戦予定！期待の新商品です。

（松野泰明）

無料プレゼント！ 発明ガイドブック

「発明ライフ入門」（希望者は下記まで）

〈この商品のお問い合わせは〉

一般社団法人 発明学会 発明アドバイザー 松野MP係 まで
東京都新宿区余丁町7番1号 発明学会ビル
☎ 03 (5366) 8811 y-matsuno@hatsume.or.jp



こちら『元気シニアビジネスアドバイザー!!!』

ブレンモンジュ・林野 均の「シニア萬、遊記」第52回

家族信託という選択肢——[その2]

今回は、家族信託のメリットについてです。

生前から自分の死後に備えて家族信託の仕組みをスタートさせておき、実際に万が一のことが発生した後の状況を予測しやすくできますし、随時アップデートも可能です。

財産の管理処分については信託契約であらかじめ定めておくことができますし、資産承継の順位を家族信託契約書作成時に決めておくこともできます。「委託者＝受託者」という形で家族信託を利用することも可能です（自己信託）。事前に自己信託の手続きを行っておくと、委託者が自己破産した場合でも信託の対象とされた財産については自己破産手続きで分配される財産に含まれません。ただし、計画倒産につながるような自己信

託は認められません。

家族信託を使えば本人の意思確認手続きは本人に対して行われないので本人の判断能力が低下して

も自宅を売却できるなどの財産管理上のメリットがあります。

（次回はデメリットです。）

新認知症薬、承認されず

mini column

昨年の7月号で、日本の製薬会社エーザイと米製薬大手バイオジェンが共同開発したアルツハイマー治療薬候補の「アデュカヌマブ」が米食品医薬品局（FDA）に製造販売を条件付きで承認され、日本でも承認申請され審査中ということを書かせていただきましたが、先月、継続審議ということになったようです。厚生省としては、現時点のデータでは有効性を明確に判断することが困難なため、追加の治験結果を待って改めて審議することになりました。メーカー側は治験の結果が出るまで4年を見込んでいるそうです。ま

た、欧州医薬品庁（EMA）は、投与のメリットがリスクを上回っていないと承認を見送り、米国でも使用は広がっていないようで、従来の半額の年約320万円に値下げするそうです。

当分は薬頼みではなく、認知症にならないように自身の努力で対応するしかなさそうですね。



*画像はイメージです。

Author／林野 均（はやしの ひとし）

プランニング・ブレン・モンジュ代表／一般社団法人 日本元気シニア総研研究委員

『元気シニアビジネスアドバイザー』資格を取得後、元気シニア総研研究委員として、シニア向け商品やサービスの取材を「自らのシニア目線」で精力的に行なっている。

<https://planningbrain.com>



デイサービス生活相談員ネットワークの『生活相談員』講座

ちっちゃいマメをおっきく育て、
夢のある未来を創造します。

株式会社スリービーンズ

<http://3beans.jp>

Let's enjoy your senior life

元気なシニアライフを
応援します！

<https://planningbrain.com>

シニアのためのコンシェルジュ

プランニング・ブレン・モンジュ

tel.090-3682-3310